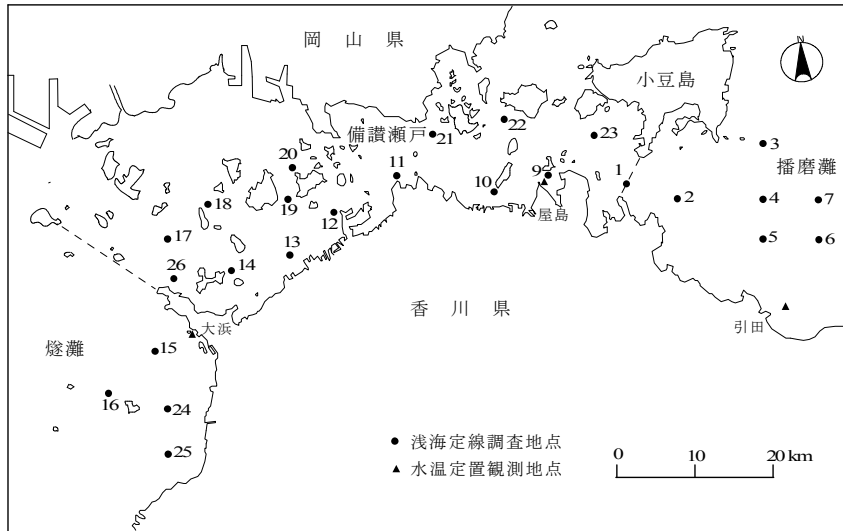


香川県漁海況速報 平成21年11月 (H21-8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成21年11月5日 (播磨灘), 4日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「平年並み」であった。

11月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.8	21.7	21.6	32.4	32.4	32.5	9.6	4.88	4.71
	平年値	21.3	21.2	21.3	31.9	31.9	32.1	8.3	4.95	4.80
	平年偏差	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.4	1.3	-0.07	-0.09
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	1.7	0.30	0.31
	状況	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	21.1	21.0	21.0	32.7	32.7	32.7	4.6	4.83	4.90
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.6	31.6	31.7	4.9	4.91	4.89
	平年偏差	0.5	0.4	0.4	1.0	1.0	1.0	-0.3	-0.08	0.01
	標準偏差(σ)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	1.1	0.32	0.30
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	21.3	21.2	21.2	32.8	32.8	32.8	7.2	5.18	4.90
	平年値	20.9	20.8	20.8	31.9	31.9	32.0	7.7	5.26	5.02
	平年偏差	0.4	0.4	0.4	0.9	0.9	0.8	-0.5	-0.09	-0.12
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	1.9	0.32	0.41
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差=平均値-平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

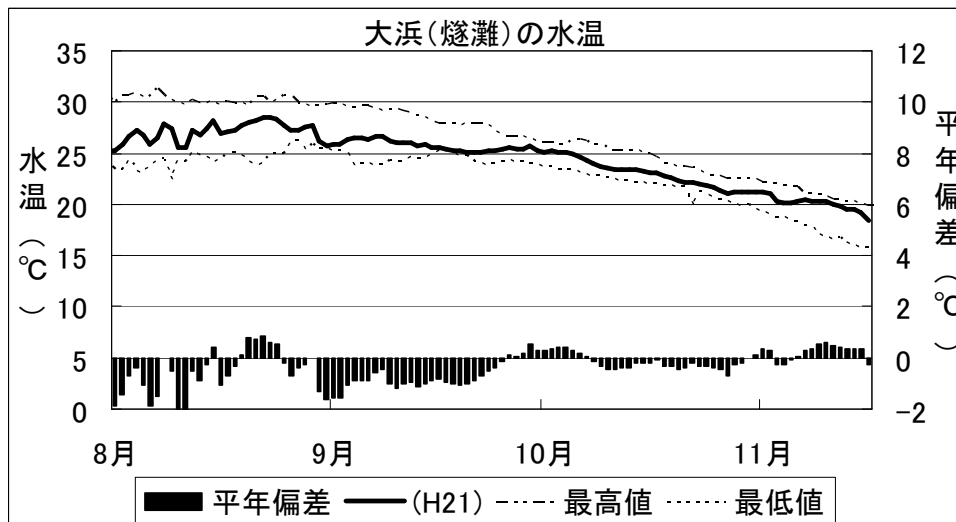
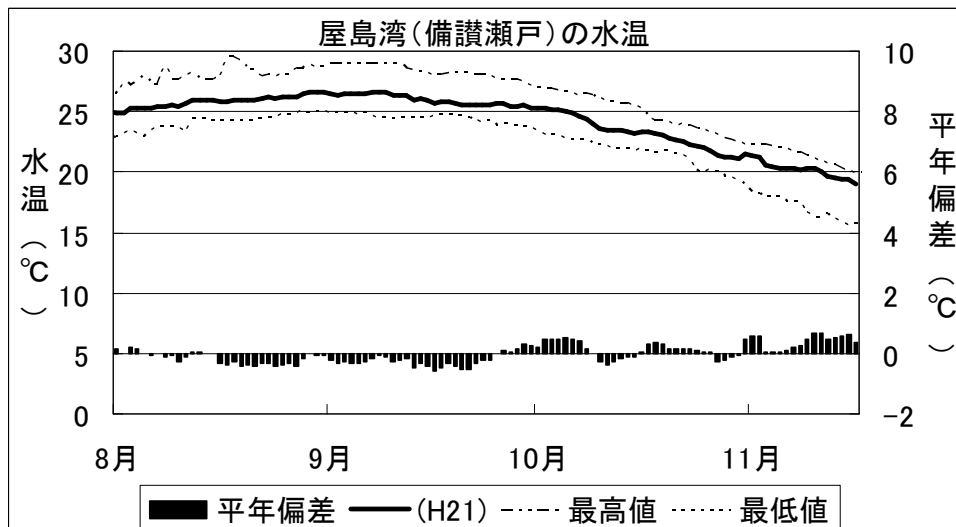
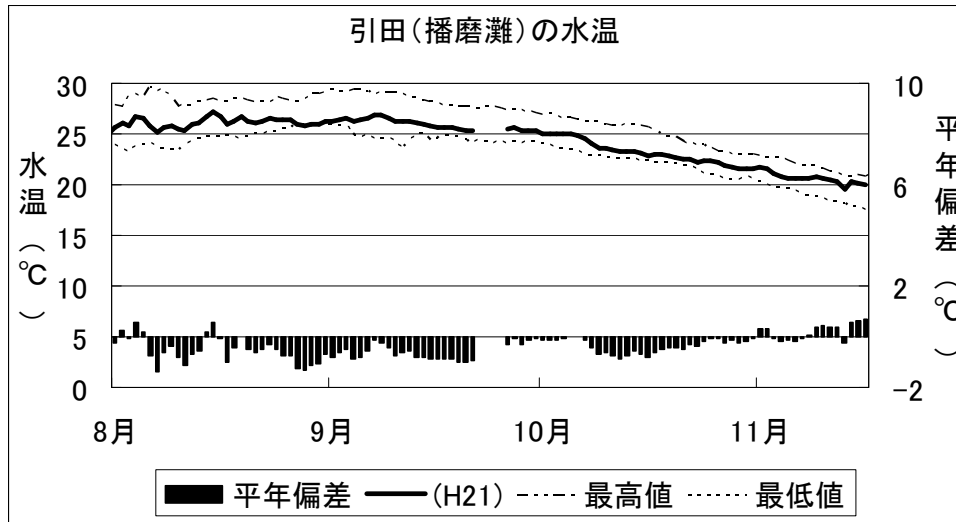
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 8月中旬以降, やや低めで推移していたが, 11月は平年並みかやや高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 8月以降は平年並みかやや低めで推移していたが, 11月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 8月以降, 概ね平年並みからやや低め (9月上中旬はやや低めからかなり低め) で推移していたが, 10月以降は概ね平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (10月22日～11月24日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年11月5日 (播磨灘), 4日 (備讃瀬戸, 燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	1,959	1,875	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	101	1,778	0	0		
燧灘	平均値	6.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.6	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	1,062	3,000	-	-		
総平均	平均値	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.2	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	715	484	0	0		

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、ウシノシタ類、カマス類、イボダイ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、タチウオが漁獲されているが、低調である。</p> <p>東讃のしらす船びき網の10月の漁獲量は約29トンで、前年の約28%と低調であった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、ウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、カワハギ、フグ類、マダコ、イイダコ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。例年と比べて、マアナゴ、ガザミ、イイダコが少ない。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、メイタガレイ、ウシノシタ類、タチウオ、アカカマス、マダコ、ガザミ、コウイカ類、小エビ類、シャコが漁獲されているが、ガザミ、ウシノシタ類は前年ほど漁獲されていない。</p> <p>柵網では、タチウオ、カワハギ(小)、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>さわら流し刺網は11月に入り、急激にサワラ、サゴシの漁獲量が増加している。</p>